

氏名 白井 正樹 (大学院研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) 白井正樹. (2016). ヒューマンサービス再考. ヒューマンサービス研究 6. 神奈川県立保健福祉大学
- 2) 立岩真也・荒井裕樹・白井正樹, (2016), 鼎談 横田弘 その思想と生涯をめぐって, ヒューマンサービス研究 6, 神奈川県立保健福祉大学

4 学会等での活動

- 1) 第7回ヒューマンサービス研究会の開催
- 2) ヒューマンサービス研究 6 の発刊
- 3) 対人援助学会第8回年次大会実行委員長
- 4) 研究発表 白井正樹 (2016) ヒューマンサービス再考. 対人援助学会. 神奈川. 2016.9

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 対人援助学会常任理事 2014.8～2017.8
- 2) 介護福祉士試験委員会副委員長 2011.5～2017.4
- 3) 神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ活動支援委員副委員長 2006.8.1～
- 4) 平成28年度(第39回)社会福祉事業団職員実務研究論文審査委員長
- 5) 社会福祉法人やまびこの里評議員 2008.6.1～2017.5.31
- 6) 横須賀市社会福祉審議会委員福祉専門分科会長 2010.4.1～2019.3.31
- 7) 神奈川県社会福祉協議会政策提言委員会副委員長 2011.8.3～2018.3.31
- 8) 日揮社会福祉財団助成審査委員 2013.4.1～2017.6.30
- 9) 葉山町総合計画審議会会長 2013.8.26～2017.8.25

6 学内教育活動

- 1) 学部担当科目 地域保健医療福祉連携論、人権ジェンダー、ヒューマンサービス総合演習、保健福祉行政論、社会福祉専門演習Ⅰ、社会福祉専門演習Ⅱ、ヒューマンサービス論Ⅰ(分担)、社会福祉行財政と福祉計画(分担)
- 2) 大学院担当科目 ヒューマンサービス特論、ヒューマンサービス演習、人事管理育成論(分担)、障害者福祉特論(分担)、保健福祉政策特論(分担)

7 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長
- 2) ヒューマンサービス研究会世話人代表
- 3) 総務・企画委員会委員
- 4) カリキュラム委員会委員

9 講演，放送

- 1) インタビュー 村上陽一郎・臼井正樹．人間の尊厳と対人援助．第7ヒューマンサービス研究会&第8回対人援助学会年次総会．神奈川．2016.9
- 2) シンポジスト 臼井正樹他．対人援助学会理事会企画シンポジウム．神奈川．2016.9
- 3) 基調講演 臼井正樹．地域連携を考えよう，第17回横須賀市高齢者福祉シンポジウム．神奈川，2016.11
- 4) コーディネーター 臼井正樹．シンポジウム 孤立・排除から共生社会への転換に向けて．地域福祉推進のための課題共有シンポジウム．神奈川県社会福祉協議会．神奈川．2017.1
- 5) コーディネーター 臼井正樹．ともに生きる ～障がい者支援を考える～．神奈川県立保健福祉大学．神奈川．2017.1
- 6) 講演・進行 堀越由紀子・臼井正樹．セルフヘルプ・グループに学ぶ 共感の持つチカラ．神奈川県社会福祉協議会．神奈川．2017.3

小林 正稔 (大学院研究科兼務)

氏名 新保 幸男（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 『児童家庭福祉論』（中央法規出版、編著）
- 2) 『家庭支援論』（中央法規出版、編著）

2 論文

- 1) 在原理恵・新保幸男「母子生活支援施設専門職の成長：社会的養護施設専門職の成長を記述するための一考察」日本子ども家庭福祉学会『子ども家庭福祉学』第16号、68頁～78頁

3 その他の著作

- 1) 『里親認定に係わる研修に関する研究：平成27年度厚生労働科学研究特別研究報告書（H27-特別-指定-037）』（研究代表者：新保幸男）
- 2) 『保健福祉専門職の専門職としての成長を促進する要因に関する研究：社会的養護分野の専門職を中心として（平成27年度神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター研究助成完了報告書）』（研究代表者：新保幸男）
- 3) 『かながわ版父子手帳』（神奈川県発刊、監修：新保幸男）

4 学会等での活動（口頭報告）

- 1) 新保幸男・柴田千香・赤木拓人「里親認定前研修の現状に関する研究：児童相談所設置自治体への平成28年2月時点での実態調査」（第17回日本子ども家庭福祉学会、口頭報告C分科会、平成28年6月5日）、日本社会事業大学
- 2) 赤木拓人・新保幸男「特別養子縁組審判例から見る養親となる者の適格性要件に関する一考察」（第17回日本子ども家庭福祉学会、口頭報告C分科会、平成28年6月5日）、日本社会事業大学
- 3) 高取しづか・新保幸男「児童養護施設に入所する児童にソーシャルスキルトレーニングの実践と効果 -ことばキャンプの実践を通して」（第17回日本子ども家庭福祉学会、口頭報告G分科会、平成28年6月5日）、日本社会事業大学
- 4) 新保幸男「養子縁組里親」を対象とする研修のあり方に関する研究（1）」平成27年厚生労働科学研究「里親認定に係る研修に関する研究」（H27-特別-指定-037）厚生労働科学研究報告会、平成28年4月22日、上智大学
- 5) 新保幸男「養子縁組里親」を対象とする研修のあり方に関する研究（2）：『養子縁組里親研修』と『児童相談所の関連業務』（H27-特別-指定-037）厚生労働科学研究報告会、平成28年4月22日、上智大学
- 6) 新保幸男・在原理恵・小林理・赤木拓人・高取しづか・野北康子「里親認定前研修の状況に関する研究：全国69都道府県児童福祉主管部（局）長への実態調査をもとにして」、日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会第3分科会、平成

29年3月11日、明治学院大学

- 7) 赤木拓人・新保幸男「特別養子縁組における子の福祉に関する研究：公刊された裁判例を対象として」日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会第1分科会、平成29年3月11日、明治学院大学
- 8) 高取しづか・新保幸男「児童養護施設におけるソーシャルスキルトレーニングの実践と効果に関する一考察：子ども版QOL尺度を用いて」日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会第6分科会、平成29年3月11日、明治学院大学
- 9) 野北康子・新保幸男・山口尚子「自主性を尊重しながら子育て支援団体を育成する公的な支援のあり方についての研究：神奈川県子ども子育て支援プロジェクト事業より検証する」日本社会福祉学会関東地域ブロック研究大会第4分科会、平成29年3月11日、明治学院大学
- 10) 新保幸男「網野武博著『児童福祉学』における『児童の権利』について」子ども家庭福祉研究会、平成28年7月30日、南流山
- 11) 赤木拓人・新保幸男「特別養子縁組裁判例における子の福祉に関する研究」(第64回日本社会福祉学会秋季大会、児童福祉3、平成28年9月11日)、佛教大学
- 12) 新保幸男・赤木拓人「『養子縁組里親』希望者を対象とする認定前研修に関する研究」(第64回日本社会福祉学会秋季大会、児童福祉3、平成28年9月11日)、佛教大学

4 学会等での活動（入会している学会、学会内での役割）

- 1) 日本子ども家庭福祉学会 学会誌編集委員会査読委員
- 2) 同上 会員
- 3) 日本社会福祉学会大会 学会誌編集委員会査読委員
- 4) 同上 会員
- 5) 日本保健医療福祉連携教育学会会員
- 6) 日本保健福祉学会会員
- 7) 日本キリスト教社会福祉学会会員
- 8) 福祉哲学研究会会員
- 9) 全国児童相談研究会会員
- 10) ヒューマンサービス研究会会員

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 内閣府 子供の貧困対策に関する有識者会議（座長代理）
- 2) 内閣府 子供の貧困に関する指標の見直しについての有識者会議委員
- 3) 厚生労働省 社会保障制度審議会臨時委員
- 4) 厚生労働省 社会保障審議会児童部会委員
- 5) 厚生労働省 社会保障制度審議会児童部会「ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」委員

- 6) 厚生労働省 子どもの養育支援に関する研究会委員
- 7) 厚生労働省 ひとり親家庭等の在宅就業支援事業評価検討会委員（委員長）
- 8) 厚生労働省 在宅就業者支援事業審査委員会委員
- 9) 厚生労働省 ひとり親家庭及び児童養護施設退所児童等に関する研究会(委員長)
- 10) 厚生労働省 社会的養護分野における子育て支援員研修の充実に関する検討委員会（委員長）
- 11) 厚生労働省 ひとり親家庭の相談支援機能の強化に関する調査研究会（委員長）
- 12) 神奈川県 神奈川県子ども・子育て支援推進協議会（会長）
- 13) 神奈川県 中里学園運営意見交換会（会長）
- 14) 横浜市 児童福祉審議会委員
- 15) 横浜市 児童福祉審議会 里親部会（部会長）
- 16) 横須賀市 児童福祉審議会委員
- 17) 横須賀市 児童福祉審議会子ども・子育て部会（副部会長）
- 18) 横須賀市 児童福祉審議会教育・保育基準部会（部会長）
- 19) 鎌倉市 次世代育成支援対策協議会（副会長）
- 20) 財団法人養育費相談支援センター運営会議委員
- 21) 神奈川子ども未来ファンド正会員
- 22) 社会福祉法人横須賀基督教社会館 苦情解決第三者委員
- 23) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』査読委員
- 24) 神奈川県保育会保育園利用者相談室 第三者委員会委員・運営委員会委員
- 25) 上智大学大学院社会福祉学専攻「児童福祉学」非常勤講師
- 26) 上智大学大学院博士論文審査委員会委員（副査）として博士論文の審査

6 学内教育活動

- 1) 研究指導教員として、大学院生1名の研究指導を担当した。
- 2) 修士論文審査主査として、修士論文1本の審査を担当した。
同副査として、修士論文1本の審査を担当した。
- 3) 大学院において、「社会福祉原論」「児童福祉特論」「社会福祉調査研究方法論」「社会福祉学特別研究」を担当した。
- 4) 学部において、「ヒューマンサービス論2」「児童福祉論」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「社会福祉専門実習」「卒業論文」の授業を担当した。また、「家族福祉論」のうち9回分を担当した。「社会福祉基礎演習Ⅰ」において「社会福祉学の学び方」について講義した。さらに、「ヒューマンサービス総合演習」の授業において学生の学びの様子を観察した。
- 5) 学科で実施している国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。
- 6) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする研究会を開催した。
- 7) 学部ゼミ・大学院ゼミの現役・卒業生を中心とする事例研究会を開催した。

8) 学部のゼミにおいて、3年次生6名、4年次生7名の指導を行った。

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科入試委員会（委員長）
- 2) 大学院入学選抜合否判定会議委員
- 3) 大学院運営委員会委員
- 4) 大学院研究科長選挙管理委員会（委員長）
- 5) 保健委員会委員
- 6) 社会福祉学科人事小委員会委員

8 社会貢献

- 1) 資生堂社会福祉事業財団が実施している奨学金支給制度（児童養護施設等へ措置されている児童が大学等へ進学するために支給するもの）にかかわる審査会の委員長として審査を担当した。

9 講演，放送

- 1) 「児童家庭福祉」全国社会福祉協議会中央福祉学院（葉山町）にて5回
- 2) 全国保育会保育研究大会関東ブロック大会（2016年7月8日）第4分科会において助言者をつとめた。神奈川県箱根町
- 3) 新保幸男「平成28年6月3日の改正児童福祉法公布を受けて」横浜地方・家庭裁判所横須賀支部横須賀家庭裁判所における講演、2016年10月3日、横浜地方・家庭裁判所横須賀支部
- 4) 新保幸男「子どもの貧困対策について：その背景・現状・政策課題」横須賀基督教社会館、2016年10月31日
- 5) NHK松山放送局「四国羅針盤」（2017年3月3日）「“おばちゃん”と子どもたち：ファミリーホームの模索」にゲスト出演し、松田利仁亜キャスターと対談するとともに、社会的養護分野の現状、特にファミリーホームについて解説した。
- 6) 新保幸男「子どもの貧困の現状と課題」第3回全国生活困窮者自立支援制度研究集会」2016年11月13日、慶応義塾大学

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究（H28-政策-指定-007）」（研究代表者、新保幸男）3年計画の1年目

氏名 高橋 恭子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 高橋恭子 (2017. 3) 第 1 部第 4 章第 1 節ソーシャルワーク前史. 『社会福祉学習双書』編集委員会編. 社会福祉学習双書 2017 第 9 巻社会福祉援助技術論 I (pp132-143). 東京: 全国社会福祉協議会.

3 その他の著作

- 1) 谷口千絵, 村上明美, 高橋恭子, 山田明美, 山本光 (2016. 5) 平成 27 年度神奈川県立保健福祉大学地域貢献研究センター助成金研究成果報告書 看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果. 神奈川県立保健福祉大学.

4 学会等での活動

- 1) 山本光, 村上明美, 高橋恭子, 谷口千絵, 山田明美. 学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会のレイプ神話認識への影響. 日本母性衛生学会. 2016. 10. 14.
- 2) 村上明美, 谷口千絵, 高橋恭子, 山本光, 山田明美. 性暴力被害者支援に向けた啓発研修会を受講した学生の思い. 日本母性衛生学会. 2016. 10. 14.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修運営委員, 日本医療社会福祉協会.
- 2) 国家公務員採用総合職試験試験専門委員.
- 3) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 4) 横須賀市男女共同参画審議会委員.
- 5) 横須賀市男女共同参画市民サポーター会議ファシリテーター.
- 6) 神奈川県弁護士会人権賞選考委員.
- 7) 横須賀共済病院受託研究等審査委員会・臨床研究倫理審査委員会委員.

6 学内教育活動

- 1) 学生サークル「Child Wish」、「バスケットボール部」顧問.
- 2) チューター担当.
- 3) 修士論文作成指導 1 名.

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会委員.
- 2) 大学院博士後期課程設置検討委員会委員.

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス学科紹介

- 2) 性暴力対応における倫理と役割を学ぶ 看護職・福祉職・教職を目指す学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた研修会. 2016. 11. 28.

9 講演, 放送

- 1) 高橋恭子「高齢者福祉と介護の中核的キーパーソンになる！今、医療との連携の必要性とつながりの方法を探る, 平成 28 年度横浜市地域包括支援センター職員研修応用編」. よこはま地域福祉研究センター. 2016. 11. 18.
- 2) 高橋恭子「医療と介護分野における福祉専門職の連携促進研修～地域生活を支援する～, 医療と介護の連携方法論, 神奈川県地域医療介護総合確保基金事業」. 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会, 神奈川県介護支援専門員協会, 神奈川県精神保健福祉士協会合同プロジェクト. 2017. 2. 4.
- 3) 高橋恭子「医療ソーシャルワーカーの”いま”を考える～ソーシャルワーカー原点回归～」神奈川県医療ソーシャルワーカー協会第 2 回横須賀三浦ブロック交流会. 2017. 3. 9

11 学内研究助成金の受託

- 1) 谷口千絵, 村上明美, 高橋恭子, 山田明美, 山本光. 地域貢献研究センター研究助成「看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果」研究分担者 研究経費: 214 千円

氏名 峯尾 武巳（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 峯尾武巳.介護支援専門員実践テキスト専門研修Ⅱ－更新研修対応版－.NPO 法人神奈川県介護支援専門員協会編集.中央法規.2016.6.37－48
- 2) 峯尾武巳.6訂介護支援専門員実務研修テキスト－新カリキュラム対応－.公益財団法人東京都保健福祉財団編集出版.2016.10.83－101.103－131.

4 学会等での活動

- 1) 長山道人.峯尾武巳.施設ケアプランに関する一考察.日本生活支援学会第8回大阪大会.2015.4.23
- 2) 日本老年行動科学会第19回全国大会神奈川大会.大会長.2016.9.3
- 3) 神奈川県臨床心理士会高齢者支援部会シンポジウム.シンポジスト.2016.11.27

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 介護福祉士国家試験委員会副委員長.実技試験部会長
- 2) 日本老年行動科学会.常任理事.査読委員
- 3) 日本生活支援学会.理事.事務局長
- 4) 社会福祉法人常盤会.評議員
- 5) 社会福祉法人平成会.評議員
- 6) NPO 法人介護の会まっなみ.理事
- 7) かながわ感動介護大賞実行委員会.副委員長
- 8) かながわベスト介護セレクト20選定委員会.委員長
- 9) 小田原保健福祉事務所.県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会.委員長
- 10) 鶴見区介護認定審査会.認定審査委員
- 11) 川崎市健康福祉関係施設整備事業者選定委員会.委員長
- 12) 三浦市日常生活支援事業契約締結審査会.委員
- 13) 横須賀市老人福祉センター指定管理者選考委員会.委員
- 14) 埼玉県介護支援専門員研修向上委員会.委員
- 15) 三郷市地域包括支援センター運営協議会.委員
- 16) 東京都介護支援専門員研修向上委員会.委員
- 17) 神奈川県社協介護支援専門員・更新研修実施プロジェクトアドバイザー

6 学内教育活動

- 1) 研究指導教員として、大学院生1名の研究指導を担当
- 2) 学部介護福祉士コース教務主任.介護福祉論.介護技術方法論.介護過程等を担当
- 3) 学生サークル「茶部」「手話サークル」「アカペラ」顧問.学生の自主的活動を支援した
- 4) 実践教育センター.介護福祉士実習指導者講習会.介護技術方法論.介護過程担当

- 5) 実践教育センター.介護教員養成講習.介護福祉学担当
- 6) 実践教育センター.多職種連携推進課程.事例検討担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員会委員長

8 社会貢献

- 1) 東京都.神奈川県.埼玉県.介護支援専門員実務研修.更新研修.主任ケアマネ研修講師
- 2) 埼玉県越谷市.さいたま市.神奈川県横須賀市.介護支援専門員連絡会研修講師
- 3) 神奈川県.埼玉県.石川県.長野県介護福祉士ファーストステップ研修講師
- 4) 埼玉県老人福祉施設協議会研修講師
- 5) さいたま市認知症介護リーダー研修講師
- 6) 埼玉県社会福祉協議会.ケアマネ大学.研修講師

氏名 山口尚子 (大学院研究科兼務)

6 学内教育活動

- 1) 学部において「ソーシャルワークⅢ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」の授業を担当した。
- 2) 大学院において「ソーシャルワーク特論Ⅱ」の授業を担当(分担)した。
- 3) 大学院の研究指導補助教員として大学院生1名を担当した。
- 4) 大学院修士論文の主査として修士論文1本、また副査として修士論文1本の審査にあたった。

7 学内各種委員会活動

- 1) 自己評価委員会委員 (2016.4.1～2017.3.31)

8 社会貢献

- 1) 福祉と市民活動研究所の研究誌「福祉と市民活動研究」の査読委員として、編集・発行に協力した。

氏名 山本恵子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 「英国の貧困・社会的孤立の問題」、ヒューマンサービス研究 6

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長
- 2) 葉山町地域包括支援センター運営協議会会長

6 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座において高齢者福祉論を担当した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究助成専門部会会長
- 2) 大学院研究科運営会議委員
- 3) 大学院博士課程設置検討委員会委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究 C「英国における孤立無業者と社会的企業の役割」研究代表者
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究 C「英国の多問題家族と自治体・社会的企業の共同支援プログラムに関する研究」研究分担者

氏名 在原理恵（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 在原理恵, 新保幸男 (2016). 母子生活支援施設専門職の成長—社会的養護施設専門職の成長を記述するための一考察. *子ども家庭福祉学*, 16, 68-78.
- 2) 在原理恵 (2016). 母子生活支援施設専門職の成長とそれに影響する環境要因. 地域貢献研究センター研究助成報告書 保健福祉専門職の専門職としての成長を促進する要因に関する研究.

3 その他の著作

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会編 (2017). 支援の難しい人の地域生活の場を広げるためには何が必要か. 公益財団法人日本社会福祉弘済会平成28年度社会福祉助成事業 報告書.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員 (2010.6～)
- 2) 社会福祉法人自立の家 理事, 評議員 (2012.11～2017.3)
- 3) 特定非営利活動法人自立の家 苦情解決のための第三者委員 (2012.7～)
- 4) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 副委員長 (2016.4～)
- 5) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長 (2014.4～)
- 6) 神奈川県障害者生産活動支援事業 工賃アップ推進検討会 構成員
- 7) 神奈川県障害者施策審議会委員 (2016.6～)

6 学内教育活動

- 1) 学部研究生 1 名を担当し, 月に 2 回程度の個別指導を行った.
- 2) 国家試験対策講座において「社会調査の基礎」を担当した.
- 3) 研究倫理審査委員として, 随時, 社会福祉領域の院生が作成した研究倫理審査申請書の指導を行った.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会, 自己評価委員
- 2) 教授会書記

8 社会貢献

- 1) 日本グループホーム学会入居者委員会において, 知的障害当事者委員を支援し, グループホーム入居者が暮らしについて考えて発言する機会を創り出す活動などを行った (月に 1 回程度).

- 2) 障害者グループホーム第三者評価項目研修（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2016.8.24 及び 9.5）
- 3) 障害者グループホーム サービスの振り返り（自己評価）研修（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2016.9.13）
- 4) 障害者グループホーム第三者評価に関する事業者説明会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2016.9.27）

氏名 大島 憲子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 日本認知症ケア学会編集委員会編：認知症ケア事典；看護過程，加齢黄斑変性，カロテノイド，間歇的口腔食道経管栄養法，間欠導尿，間欠熱，看護記録，他2語）東京，ワールドプランニング,2016.10.1
- 2) 大島憲子（2016.3）：第1章第4節・第5節・第6節．社会福祉学習双書編集委員会編：新版・社会福祉学習双書 2016 第15巻 介護概論．14-34，東京，全国社会福祉協議会．（2009～）
- 3) 利用者状態増に応じた介護職における技術評価のレベル分類に関する研究事業委員会編：介護プロフェッショナル キャリア段位制度 評価者「アセッサー講習テキスト」，シルバーサービス振興会，（2012～）
- 4) 日本介護福祉学会辞典編纂委員会編：介護福祉学事典；自尊感情と介護，感情喪失と介護，726-729，京都，ミネルヴァ書房，（2014～）

2 その他の著作

- 1) 大島憲子「市町村における認知症の人とその家族支援に関する研究 ―神奈川県下地域包括支援センターの認知症対応の現状と課題―」報告書 2016.3.31.
- 2) 平成25年度老人保健事業費補助金 老人保健健康増進等事業『認知症ライフサポートモデルを実現するための認知症多職種協働研修における効果的な人材育成のあり方及び既存研修のあり方に関する調査研究事業報告書』日本能率協会，2013
- 3) 平成25年度老人保健事業費補助金 老人保健健康増進等事業『認知症の人に関わる医療・介護従事者及び家族の共通理解を図るための支援方策や研修の実態把握についての調査研究報告書』ヴェクソンインターナショナル，2013

3 学会等での活動

- 1) 日本認知症ケア学会 「日本の認知症ケア学会誌」査読委員（2006～）
- 2) 日本認知症ケア学会「認知症ケアジャーナル」査読委員（2008～）
- 3) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員（2006～）
- 4) 日本認知症ケア学会大会 口頭発表等座長（第10回大会～）

4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会委員（2015.9～）
- 2) 神奈川県在宅医療推進協議会委員（2015.2～）
- 3) 神奈川県地域包括ケア会議委員（2015.2～）副委員長（2015.4～）
- 4) 横須賀市介護保険運営協議会委員（2014.9～）
- 5) 日本認知症ケア学会 評議員（現，代議員），2006～
- 6) 日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士推進委員会委員（2016～）
- 7) 日本認知症ケア学会 各種褒章等委員会委員（2016～）
- 8) 介護キャリア段位制度 アセッサー講習・外部評価審査員講習の在り方に関する検討会

ーム検討委員（2014～2015）

- 9) 平成 26 年度老人保健健康増進等事業「認知症介護実践研修、指導者養成研修のあり方およびその育成に関する調査研究事業」プロジェクト委員（2014.7.1～2015.3.31）

5 学内教育活動

ゼミ生の卒業研究指導、院生研究補助指導等

6 学内各種委員会活動

- 1) 図書・情報委員会委員，2016.4～
- 2) 地域貢献研究センター委員，2013.11～

7 社会貢献

平成 26 年度 地域貢献研究センター講演会「認知症の人との『きずな』～ヒューマンサービス、そのまなざしと温もりと～」を企画（平成 27 年 2 月開催）した。

対象：一般市民、保健医療福祉専門職、大学院生、大学生

内容：長谷川和夫認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長、阿部志郎神奈川県立保健福祉大学名誉学長による講演及び鼎談

8 講演，放送

講演：平成 28 年度 ゆめクラブ大学講師 「よくわかる地域支援事業の全体像」
2016.10.13

（※横須賀・三浦ブロック連絡協議会主催による「ゆめクラブ大学」における講演等）

9 学内研究助成金の受託

大島憲子，松坂由香里「認知症者の行動・心理症状に対するケア技術と評価尺度に関する研究」神奈川県立保健福祉大学 研究助成 A（協働研究）405 千円 2016.4.1～2017.3.31

川村 隆彦（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 川村隆彦著（2016）『ソーシャルワーク実践の価値と倫理(1)－倫理綱領への基礎的理解』ソーシャルワーク研究 42-No1
- 2) 川村隆彦著（2016）『ソーシャルワーク実践の価値と倫理(2)－倫理綱領への基礎的理解その2』ソーシャルワーク研究 42-No2
- 3) 川村隆彦著（2016）『ソーシャルワーク実践の価値と倫理(3)－現場での倫理的ジレンマの課題と対応』ソーシャルワーク研究 42-No3
- 4) 川村隆彦著（2017）『ソーシャルワーク実践の価値と倫理(4)－価値と倫理の教育法への提案』ソーシャルワーク研究 42-No4

3 その他の著作

- 1) 川村隆彦（2016）「グループスーパービジョン D」『医療ソーシャルワークの解決技法』平成 28 年度版

4 学会等での活動

- 1) 川村隆彦（2016）「理論・アプローチの組み合わせと融合から折衷モデルをつくる - 組み合わせと融合のグルーピング」口頭発表 日本ソーシャルワーク学会第 33 回大会
- 2) 川村隆彦（2016）「理論・アプローチの組み合わせと融合から折衷モデルをつくる - 折衷モデルと実践事例の適応」口頭発表 日本社会福祉学会第 64 回秋季大会

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員（2006. 1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員（2013.10～）

6 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワーク I」「ソーシャルワーク II」「ソーシャルワーク演習 I」「ソーシャルワーク演習 II」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導 I・II」「社会福祉専門演習 I・II」「卒業論文」を担当した
- 2) 保健医療福祉論 I において講義を担当した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働部会（2010. 4～）

8 社会貢献

- 1) 福井県医療社会事業協会主催研修「ソーシャルワークの理論とアプローチ」（2016. 9）

氏名 中村 美安子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 中村美安子. (2017). 第2章社会福祉の再編と地域福祉 6 介護保険法・社会福祉法と地域福祉 7 これからの地域福祉のあり方報告と安心生活創造事業. 社会福祉学習双書 2017 第8巻地域福祉論(改訂第8版) 地域福祉の理論と方法. (62-68). 東京: 全国社会福祉協議会. 2017.3

3 その他の著作

- 1) 中村美安子. (2016). 元気シニア応援団体に対する助成活動(平成28年度版). 一般社団法人生命保険協会. (4). 2016.9
- 2) 中村美安子. (2016). 高齢者の生活支援ニーズと生活支援サービス. 平成28年度生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)指導者養成研修テキスト. 厚生労働省. (59-71). 2016.9
- 3) 中村美安子. (2016). 高齢者の生活支援ニーズと生活支援サービス. 平成28年度生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)指導者養成研修参考資料集. 厚生労働省. (33-49). 2016.9

4 学会等での活動

- 1) 学会発表(2016.9.24) 中村美安子、野村洋介、大原一興、藤岡泰寛. 空き家を活用した住民福祉活動拠点に関する研究～神奈川県茅ヶ崎市地区ボランティアセンターの事例から. 日本建築学会 2019年度大会(九州). 福岡大学. 学術講演梗概集 建築計画 5140 (279-280)
- 2) 学会発表(2016.9.26). 阪東美智子、佐藤由美、中村美安子. 公営住宅の指定管理者制度・管理代行制度の導入状況. 日本建築学会 2019年度大会(九州). 福岡大学. 日本建築学会 2019年度大会学術講演梗概集 建築社会システム 8240 (279-280)
- 3) 学会発表(2016.8.6). 阪東美智子、佐藤由美、中村美安子. アンケート調査から見た地域防災計画等における応急仮設住宅対策—高齢者・障がい者等に配慮した民間仮設住宅の供与の方策に関する研究—その3—. 日本福祉のまちづくり学会第19回全国大会. 函館アリーナ. 日本福祉のまちづくり学会第19回全国大会概要集 SS6B-1
- 4) 学会セッション司会(2016.9.24). 日本建築学会 2019年度大会(九州). 福岡大学. 「高齢者の健康状態」セッションの司会を務めた。

5 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局 社会福祉推進事業評価委員会委員 2011.9～
- 2) 厚生労働省老健局 介護予防・日常生活支援総合事業におけるコーディネーター・協議体のあり方に関する研究事業委員 2015.9.～2017.3
- 3) 厚生労働省老人保健増進等事業 平成28年度生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)指導者養成事業委員会委員 2016.6～2017.3

- 4) 厚生労働省老人保健増進等事業 新しい包括的支援事業における生活支援コーディネーター・協議体の先行事例の調査研究事業検討委員会委員. 2016.8～2017.3
- 5) 神奈川県社会福祉審議会委員 (民生委員審査専門分科会委員長). 2014.8～2016.7
- 6) 横浜市福祉のまちづくり推進会議委員(副委員長) 2013.7.～
- 7) 横浜市こども・子育て会議臨時委員 2016.11.1～
- 8) 子ども・若者支援協議会委員 2016.11.1～
- 9) 川崎市共に支え合う地域づくり検討委員会委員 2016.6～2017.3
- 10) 大磯町高齢者福祉計画等策定委員会委員 2014.8～2017.3
- 11) 全国民生委員児童委員連合会 地域福祉推進部会委員 2011～
- 12) 全国民生委員児童委員連合会民生委員制度創設 100 周年記念事業「全国モニター調査」作業部会委員 2016.1.4～
- 13) 神奈川県民生委員児童委員協議会 総合企画委員会委員 2010～2017.3
- 14) 横浜市民生委員制度創設 100 周年記念事業検討委員会委員 2015.8～2017.3
- 15) 横須賀市社会福祉協議会日常生活自立支援事業審査会委員 2013.4～
- 16) 大和市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会委員 2013.9～
- 17) 社会福祉振興・試験センター 介護支援専門員実務研修受講試験委員 2014.4～
- 18) 狛江市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員 2016.6.～

6 学内教育活動

- 1) 平成 28 年度社会福祉学科国家試験対策講座講師。(「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」)
- 2) 実践教育センター主催他職種連携推進課程において「地域生活支援論」を講義した
- 3) チューターとして 9 名の 1 年生を担当した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学校連盟担当 2009.4～
- 2) 公立大学協会社会福祉系部会連絡会担当 2009.4～
- 3) 自己評価委員会専門部会委員 2011.4～2017.3
- 4) 人権・倫理委員会委員 2013.4～2017.3

9 講演、放送

- 1) 厚生労働省主催. 生活支援コーディネーター指導者養成研修 (東京会場、大阪会場) において、都道府県職員並びに研修講師候補者を対象に生活支援ニーズと生活支援サービスについて講義した。2016.9、2016.10
- 2) 横須賀市地域づくり講演会ほか、市役所、市町村社会福祉協議会. 地区社会福祉協議会主催の研修会等で講演

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者. 中村美安子、大原一興、藤岡泰. 地区社会福祉協議会活動推進における空き家活用型専有拠点に関する研

究. 平成 28 年度～30 年 350 万円. 2016. 4. 1～2019. 3. 31

福士 貴子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 福士貴子. 第7章 日々の暮らしを安定させる生活支援サービス. 大島巖・奥野栄子・中野敏子編. 障害者福祉とソーシャルワーク. 有斐閣
- 2) 福士貴子. 第5章 高齢者福祉における生活支援—相談援助とケア—. 岡本多喜子編著. 高齢者の生活保障. 青鞞社

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市児童福祉審議会，委員
- 2) 同 措置分科会，副委員長

6 学内教育活動

- 1) 研究指導補助教員として，大学院生1名を担当した.
- 2) 修士論文審査の副査として，1本の審査を担当した.
- 3) 大学院において，「ソーシャルワーク特論Ⅱ」をオムニバスで担当した.
- 4) 学部において，「ソーシャルワークⅣ」「障害者福祉論」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「社会福祉専門実習」「卒業論文」を担当した. その他「社会福祉基礎演習Ⅰ」において「ソーシャルワーク」の講義をした. 「保健医療福祉論Ⅰ」では、担当学生の事前・事後指導を行った.
- 5) 学部ゼミの指導をした.
- 6) 社会福祉学科国家試験対策講座講師とし，「相談援助の基盤と専門職」を担当した.

7 学内各種委員会活動

- 1) FD委員会 委員

8 社会貢献

- 1) 実践教育センターの教育・研修講師
「多職種連携推進課程」において，相談支援の基本に関する講義と演習を12時間行った.
- 2) ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修講師として，「障害児福祉」を担当した.

氏名 行實志都子（大学院研究科兼務）

1. 著書

- 1) 行實志都子『精神保健福祉に関する制度とサービス第3版 第4章4節専門職と地域住民の役割と実際』（古屋編集），弘文堂，P122-125，2017.2.28

2. 論文

- 1) 行實志都子『地域生活を支援する福祉専門職の医療と介護の連携における現状と課題』神奈川県立保健福祉大学誌 14 (1)，3-13，2017
- 2) 若林功，石原まほろ，行實志都子『精神障害者・発達障害者への復職支援の実際：障害者特性及び職場同僚・上司の理解に焦点を当てて』職業リハビリテーション，30(2)，3-11,2017

3. 学会等での活動

- 1) シンポジウム発表：精神保健福祉士の立脚点と実践を考える ～精神保健福祉法、障害者総合支援法の改正を見据えて～②精神障害者の自己決定支援の課題「権利擁護委員会の活動より」，第52回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第15回日本精神保健福祉士学会

4. 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 2014.4.1～ 精神障害者のリハビリテーションについて研究する学会におけるの学会員への研修企画を担当する。
- 2) 三芳町自立支援協議会 会長 2010.4.1～ 埼玉県三芳町の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める。
- 3) ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 2008.4.1～ 埼玉県ふじみ野市が主催する精神障害者支援に関係する機関や家族、学識経験者が集まり、ふじみ野市の精神障害者への支援を検討する。
- 4) 社会福祉法人結の会 評議員 2013.1.1～ 新宿区にある就労継続支援 B 型を実施する社会福祉法人であり、その会の評議員を務める。
- 5) 精神保健福祉養成校協会 事務局員 学生支援担当 2010.4～ 精神保健福祉士養成校協会の事務局員として、精神保健福祉士養成校の学生に対する支援を行う。
- 6) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 2016.4.1～
- 7) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 2016.6.1～
日本精神保健福祉士協会の精神保健部 権利擁護委員会での委員長を務める。
- 8) 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～
神奈川県精神保健福祉士協会において、理事を務め広報委員会を担当する。

5. 学内教育活動

- 1) ゼミにおいて「こころの差別～一緒に考えてみませんか？」DVDを作成する。

6. 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス担当

7. 社会貢献

- 1)公益社団法人日本てんかん協会神奈川県支部，てんかんと雇用に関する研究会「てんかんのある方々の雇用100事例集 作成に向けての第一報」発行

8. 講演，放送

- 1)ピアサポート研修 オストミーの会 千葉 2016.7.3
2)ヒューマンサービス公開講座（春期）2016.6.12
3)ヒューマンサービス公開講座（秋期）2016.9.24
4)川崎市精神障害者地域生活支援センター カシオペア ピアサポート研修
2016.10.5
5)JCOM ニュース 横須賀版 （ヒューマンサービス公開講座の紹介）
6)アステラス製薬 ピアサポート研修 福岡 2016.10.22-23

氏名 吉中 季子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 布川日佐史・加美嘉史・吉永純 共著『現代の貧困と公的扶助-低所得者に対する支援と生活保護制度』高菅出版 2016年4月
第10章「母子世帯と児童扶養手当制度」を執筆 pp.302-313

2 学術論文

- 1) 吉中季子「ドメスティック・バイオレンスにおける「経済的暴力」の概念—その予備的考察—」『社会問題研究』(大阪府立大学人間社会学部) 第66号(通巻第145号) pp.65 - 76. 2017年2月

4 学会等での活動

- 1) 社会福祉学会第64回秋季大会 (佛教大学紫野キャンパス) 女性福祉・ジェンダー部会の全体統括コメンテーター (2016年9月11日)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 社会政策学会 企画委員会委員 (2012年6月～2016年9月迄)
- 2) 貧困研究会 選挙管理委員会委員 (2016年4月～現在に至る)
- 3) 貧困研究会 運営委員 (2017年3月～現在に至る)

6 学内教育活動

- 1) 社会福祉士国家試験対策にて、「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当
- 2) チュータークラス担当

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会
- 2) 公立大学協会社会福祉学系部会担当

8 社会貢献

- 1) 葉山町民生委員推薦会委員 (神奈川県葉山町)
- 2) 特定非営利活動法人 女性サポート Asyl (あじーる) 代表理事
- 3) 特定非営利活動法人 ホームレス支援北海道ネットワーク 理事

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 15K03922 「単身女性のライフステージにおける貧困の形成要因に関する研究」2015-2017年度 研究代表者
- 2) 科学研究費補助金(基盤研究(A))課題番号 16H02047 「子どもの貧困に関する総合的研究: 貧困の世代的再生産の過程・構造の分析を通して」2016-2019年度 分担研

究者（研究代表者 松本伊智朗（北海道大学・大学院教育学研究院・教授））

氏名 石井 忍 (大学院研究科兼務)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2) 介護福祉士国家試験実技試験委員 2012.6～

6 学内教育活動

- 1) 実践教育センター 教員・教育担当者養成課程 介護コース「介護技術論」

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会

8 社会貢献

- 1) シャローム浦上台 第三者委員. 2010.4～
- 2) 横浜市野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～

11 学内研究助成金の受託

- 1) 地域貢献研究センター研究助成、「保健福祉専門職の専門職としての成長を促進する要因に関する研究」新保幸男 (研究代表者・社会福祉学科教授)、在原理恵 (同准教授)、大庭志野 (人間総合・専門基礎准教授)、村上明美 (看護学科長・教授)、野中淳子 (同教授)、岡澄子 (同准教授)、米山雅子 (同講師)、鈴木志保子 (栄養学科教授)、駿藤晶子 (同講師)、樋口良子 (同助教)、峯尾武巳 (社会福祉学科教授)、石井忍 (同講師)、笹田哲 (リハビリテーション学科教授)、水野健 (同助教)

川久保 寛（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 川久保寛「原爆医療給付と放射線起因性」別冊ジュリスト（社会保障判例百選）227号（2016年5月）232～233頁。
- 2) 川久保寛「判例回顧（社会保険系）」社会保障法31号（2016年5月）195～198頁。

3 その他の著作

- 1) 川久保寛「第2章 ドイツ介護保険制度における介護者の支援」JILPT 資料シリーズ186号『ヨーロッパの育児・介護休業制度』（2017年3月）18～29頁。

4 学会等での活動

- 1) 川久保寛「ドイツ介護保険法における介護サービスの質の保証－事業者に対する規制を中心に－」東京社会保障法研究会・研究報告（於東洋大学）2017年2月18日。
- 2) 川久保寛「AOK 調査報告」科研基盤 B（ドイツ若者就労支援の研究－成長過程に即した包活的支援と最低生活保障の視点から）研究会・研究報告（於花園大学）2016年12月28日。
- 3) 川久保寛「介護・福祉に関する法的課題」高齢者と法研究会・研究報告（於東京大学）2016年12月27日。
- 4) 川久保寛「ドイツ介護保険法における介護サービスの質の保証」世界の病院（科研基盤 A・持続可能な社会保障制度構築のための病院等施設サービス機能に関する総体的比較研究）研究会・研究報告（於京都）2016年12月11日。
- 5) 川久保寛「成年後見人の横領と裁判所の国家賠償責任 ～学説および裁判例の検討による基礎的考察～」高齢者法研究会・研究報告（於かながわ労働プラザ）2016年12月9日。
- 6) 川久保寛「不適切な介護サービスの提供と介護保険法22条3項の解釈」東京社会保障判例検討会・研究報告（於早稲田大学）2016年11月18日。
- 7) 川久保寛「ドイツ介護保険法の改正とその評価～これまでの振り返りと今後の見通し～」早稲田大学研究会・研究報告（於早稲田大学）2016年8月3日。
- 8) 川久保寛「AOK 調査について」科研基盤 B（ドイツ若者就労支援の研究－成長過程に即した包活的支援と最低生活保障の視点から）研究会・研究報告（於関西学院大学）2016年7月17日。
- 9) 川久保寛「障害福祉サービスの提供における指定事業者の法的地位」東京社会保障判例検討会・研究報告（於早稲田大学）2016年5月20日。

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会・編集委員（2016年12月から現在まで）
- 2) 横須賀市社会福祉協議会、よこすか市民後見人等運営事業推進会議・委員（2013年10月1日から現在まで。2015年6月2日から副委員長）

- 3) 横須賀市、地域包括支援センター・総評担当（2014年度から現在まで）
- 4) 日本総合研究所、介護保険法に基づく介護サービス事業者に対する行政処分等の実態及び処分基準例の案に関する調査研究事業（厚生労働省老人保健健康増進等事業）・委員（2016年11月から現在まで）

6 学内教育活動

- 1) （学部）社会保障論、権利擁護と成年後見制度、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ
- 2) （社会福祉士国家試験対策）社会保障、権利擁護と成年後見制度、就労支援サービス、更生保護

7 学内各種委員会活動

- 1) 時間割ワーキンググループ（2016年4月から現在まで）。
- 2) 国家試験連絡担当（2015年4月から現在まで）
- 3) オープンキャンパス担当（2015年4月から現在まで）

8 社会貢献

- 1) 横須賀市大津地域包括支援センター、地域ケア会議・委員（2016年11月から現在まで）
- 2) 川久保寛「『社保完備』とお仕事のランク」高大連携プログラム・講演（於二俣川看護福祉高等学校）、2016年6月1日。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 川久保寛「介護サービスの質の確保と行政の役割 ―ドイツを参照した解釈論的・実証論的研究―」科研若手研究 B 研究代表者、2016年4月から2019年3月まで、1,300,000円。
- 2) 川久保寛「持続可能な社会保障制度構築のための病院等施設サービス機能に関する総体的比較研究」科研基盤 A（研究代表・加藤智章北海道大学大学院教授）研究分担者、2015年4月から2020年3月まで、100,000円。
- 3) 川久保寛「高齢者法の確立に向けて ―学際的研究による高齢者特有の法的課題の究明」科研基盤 B（研究代表・関ふ佐子横浜国立大学大学院教授）研究分担者、2015年4月から2019年3月まで、400,000円。

14 その他

- 1) 川久保寛「社会保障論」神奈川県ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修・講義（於神奈川県立保健福祉大学）、2016年8月19日。
- 2) 川久保寛「介護保険法22条の解釈と介護保険における指導・監査」日本総合研究所・ヒアリング（於神奈川県立保健福祉大学）、2016年7月6日。
- 3) 川久保寛「社会福祉士の仕事と社会福祉学科の特色」神奈川県立保健福祉大学高校生向け説明会・模擬授業（於神奈川県立保健福祉大学）、2016年6月25日。

氏名 岸川 学

2 学術論文

- 1) 岸川学 (2016) 自閉症者支援施設における OJT に関する研究ー「構造化」導入による支援者の変化に着目してー, ヒューマンサービス研究 6, 神奈川県立保健福祉大学ヒューマンサービス研究会, 66-76.

3 その他の著作

- 1) 岸川学 (2016) 『知的障害や自閉症のエアロビック指導』, 季刊スマイル Vol.73, 公益社団法人日本エアロビック連盟, p14.
- 2) 岸川学 (2016) 『知的障害や自閉症の人へのエアロビック指導の可能性』, 季刊スマイル Vol.75, 公益社団法人日本エアロビック連盟, p13.

4 学会等での活動

- 1) 口頭発表: 岸川学「理事会企画ー津久井やまゆり園の事件を振り返ってー」, 第7回ヒューマンサービス研究会・第8回対人援助学会. 2016.9.24

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問委員. 2011.5～
- 2) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会委員長. 2011.8～
- 3) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会委員. 2012.9～
- 4) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議委員. 2013.4～
- 5) 横須賀市障害とくらしの支援協議会くらしを支える連絡会会長. 2013.4～
- 6) 神奈川県立岩戸養護学校評議会委員. 2014.6～
- 7) 鎌倉市自立支援協議会権利擁護・相談支援専門部会会長. 2015.4～
- 8) 鎌倉市自立支援協議会運営会議委員. 2016.4～
- 9) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会会長. 2016.4～

6 学内教育活動

- 1) ソーシャルワーク演習 I, ソーシャルワーク実習, ソーシャルワーク実習指導 I, ソーシャルワーク実習指導 II, 社会福祉基礎演習 I, 社会福祉基礎演習 II, 保健医療福祉論 I, 障害者福祉論「発達障害の人への理解と支援 (1 回)」, 形態別介護技術演習 II 「知的障害を伴う自閉症の人への支援 (2 回)」, ヒューマンサービス総合演習 (事例検討) を担当.
- 2) H.S.C (ほっとするクラブ), 卓球サークル, 顧問.
- 3) サマースクール 2016, おひサマー2016 のサポート. 2016.8.18～8.23
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」. 2016.12
- 5) 発達障害者支援に関する学生自主研究会「マナブジョン」のサポート. 2012.12～

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員. 2013.4～
- 2) オープンキャンパス担当委員. 2015.4～
- 3) 卒業式・入学実行委員. 2017.3

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立保健福祉大学・神奈川県教育委員会 平成 28 年度ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修において「発達障害の理解と対応」を担当した. 2016.8
- 2) 「自閉症者ボランティア」の養成, 横須賀・三浦地区自閉症児・者親の会における学生ボランティアのコーディネート・自閉症に関する講義を実施. 2016.9
- 3) 神奈川県立保健福祉大学特別講演「ともに生きるー障がい者支援を考えるー」において重度知的障害者支援の立場から意見発表を行なった. 2017.2.5
- 4) 社会福祉法人神奈川県社会福祉事業団 平成 28 年度介護職員初任者研修において「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」「医療との連携とリハビリテーション」「障害の理解」の講義を担当. 2017.3

9 講演, 放送

- 1) 講演:「障害のある人の気持ちに近づいてみよう!ーより良い関係づくりのためにー」品川区主催/日曜サークル運営スタッフ委嘱式研修会. 2016.4.3
- 2) 口頭発表:「自閉症者支援の形成ー支援課題と TEACCH プログラムの検証を通してー」学内研究発表会, 2016.7.6
- 3) コーディネーター:「横須賀市でつくられる基幹相談支援センターー求められる基幹センターでの障害者サービスの役割はー」. 第 22 回福祉のまちづくりを進める市民集会. 2016.7.23
- 4) サブトレーナー:神奈川県自閉症児・者親の会連合会「第 19 回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」. 2016.7.30～8.3
- 5) 講演:「障害のある人の成人期の地域生活ー現状と課題ー事例を交えながら」. 神奈川県立鎌倉養護学校夏季公開講座. 2016.8.4
- 6) 講演:「障害のある人の気持ちに近づいてみよう!ーより良い関係作りのためにー」. 逗子市社会福祉協議会・逗子文化交流プラザ「新しい障がいの理解とコミュニティ」. 2016.10.30
- 7) 講演:「支援とは何かを考えるー利用者の虐待被害を防ぐためにはー」. 神奈川県ホームヘルプ協会研修会. 2017.11.12
- 8) 講演:「当事者の気持ちになってより良い支援を一緒に考えよう」. 三浦しらとり園職員研修会. 2016.11.21
- 9) 講演:「支援とは何かを考えるー福祉サービス提供での虐待を防止するためにはー」社会福祉法人ラファエル会虐待防止研修. 2016.11.21～2016.12.27 (全 10 回)
- 10) 講演:「支援とは何かを考えるーこどもの虐待被害を防止するためにはー」. 鎌倉市あおぞら園職員研修会. 2016.12.2
- 11) 講演:「支援とは何かを考えるー利用者の虐待被害を防止するためにはー」. アメグス

ト職員研修会，2016.12.5

- 12) 講演：「成人期の支援－施設における視覚支援の取り組み－」. 千葉県 TEACCH プログラム研究会，2016.12.18
- 13) 講演：「自閉症スペクトラム支援の実際－強度行動障害と上手につきあう方法－」. 平成 28 年度神奈川県発達障害者支援センター支援技術習得研修⑨，2017.2.2
- 14) 講演：「成人期の支援－『おとな』の生活イメージをつかむ－」. 横浜市東部療育相談センター保護者勉強会，2017.2.7

11 学内研究助成金の受託

- 1) 岸川学. 「自閉症者支援の形成に関する研究－日本における TEACCH プログラムの展開と評価」, 研究助成 B, 71,875 円, 2016.6.1～2017.3.31

氏名 中越 章乃

1 著書

- 1) 精神保健福祉士国家試験模擬問題集 2017, 精神保健福祉の理論と相談援助の展開, 中央法規出版株式会社 (2016) 選択問題, 事例問題, 解説の作成
- 2) 精神保健福祉士シリーズ「精神保健福祉に関する制度とサービス (第3版)」第1章, 株式会社弘文堂 (2017)
- 3) 『書籍紹介: 精神科医療は誰のため? ~ユーザーと精神科医との「対話」』, 精神医療 (82), 131-133, 批評社.
- 4) 「介護支援専門員に求められるマネジメント」介護支援専門員実務研修テキスト第8章, 46-57, 公益財団法人東京都福祉保健財団.

2 学術論文

- 1) 中越章乃 (2016) 「精神科入院患者に対する地域移行支援の課題～個別給付化による影響～」, ヒューマンサービス研究 6, 77-84.

3 その他の著作

- 1) 「介護支援専門員に求められるマネジメント」東京都介護支援専門員実務研修前期課程講義・演習資料, 公益財団法人東京都福祉保健財団.

4 学会等での活動

- 1) 中越章乃, 「地域移行・定着支援における助っ人とは?」第3回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会 (品川区), 長期入院患者の地域移行支援を推し進めるために～実効性あるプログラムとは何か, シンポジスト, 2016. 6. 11-12.
- 2) 退院支援の原点を考える～長期入院患者に向けたピアサポート活動から～, リカバリー全国フォーラム (豊島区) 2016. 8. 26-27, 分科会コーディネーター.
- 3) 中越章乃「精神障害者退院促進支援効果モデルの特徴」科学研究費補助金基盤研究 (C) 「精神障害者の地域移行を促進する多職種連携によるクラウドシステムの構築と活用」意見交換会 (文京区) 2016. 9. 3
- 4) 古屋龍太・高野悟史・中越章乃ほか, 長期入院患者の退院促進・地域定着支援のためのガイドラインの検討～効果的援助要素を軸とした病院地域統合型支援マニュアルをベースに～, 第59回日本病院・地域精神医学会総会 (練馬区), 2016. 10. 14.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県精神保健福祉センター調査研究委員
- 2) 神奈川県精神保健福祉士協会 実習指導のありかたワーキンググループ委員
- 3) 横須賀市障害程度判定等審査会委員

6 学内教育活動

- 1) 精神障害者の生活支援システム, 精神科リハビリテーション学, 精神保健福祉援助演習, 精神保健福祉援助技術演習, 精神保健福祉援助実習指導 I, 精神保健福祉援助実習指導 II, 精神保健福祉援助実習, 基礎演習 I, II
- 2) 精神保健福祉援助実習の事前指導(実習計画書作成等)・事後指導(実習報告書作成等), 実習巡回指導, 実習報告会, 実習指導者懇談会の開催
- 3) 形態別介護技術演習 II 「精神障害のある人の生活支援技術」
- 4) 精神科領域の施設、精神科病院と見学希望学生の調整
- 5) 精神保健福祉をテーマとした卒業論文に関する調査先調整、助言等

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会委員
- 2) 卒業式・入学式実行委員

9 講演, 放送

- 1) 「地域移行支援の現状と機関連携の工夫～それぞれの地域から～, 神奈川県精神保健福祉基礎研修講師(横浜市) 2016. 7. 20.
- 2) 「法改正後の退院に向けた取組み概要」, 神奈川県退院後生活環境相談員及び地域援助事業者等研修講師(大和市) 2017. 2. 20.
- 3) 「長期入院患者の退院促進・地域定着支援のためのガイドラインの検討～発展段階(期)ごとの達成定義～」科学研究費補助金基盤研究(C)「精神障害者の地域移行を促進する多職種連携によるクラウドシステムの構築と活用」説明会(犬山市) 2017, 3, 31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 「精神科長期入院者の退院支援モデル構築のためのインタビュー調査」研究助成B(奨励研究)助成